



雪と氷の研究者に インタビュー



オーストラリア隊 (2003年/2007年/2012年)、58次夏隊 南極地域観測隊

たむら たけし
田村 岳史さん

国立極地研究所 気水圏研究グループ准教授

(2018年7月現在)



**どうして雪、氷の研究に興味をもったのですか？
また雪と氷の魅力を教えてください。**

私は札幌でスキーや雪合戦をしながら育ったので、雪や氷は身近な存在でした。雪や氷の本当の魅力は、そのスケールと影響力の大きさです。南極や北極にある膨大な大きさの雪や氷に変化が起こると、雪や氷が存在できないような遠く離れたの暖かい場所に対しても大きな影響が起こります。最近の日本の寒すぎる冬もその影響の一例ですし、今後の変化で日本の沿岸域が海に沈んでしまうかもしれません。



ご自身の研究内容を教えてください。

人工衛星を使って、海の氷がどこでどれだけできているのかという計算をしています。また最近では、南極に行って氷の下の海の観測をして、暖かい海がどれだけ南極の氷を下から融かしているのかについての研究もしています。巨大な南極の氷が融けると、その分だけ海水面は上昇します。



【船から海水上に降りて氷の厚さを測る観測】



子どもたちにむけてメッセージをお願いします。

同じ事を長く続けていると、実はたいていの事はなんでもできるようになってしまいます。ただし、楽しい事でないと長続きはしません。自分の好きな事が何かというのは誰にもわからないので、何でもいろいろとチャレンジしてみましょう。何でもいろいろ興味を持って勉強してみましょう。



【冬は氷で覆われている海の底に測器を沈めて海水の成分を測る観測】